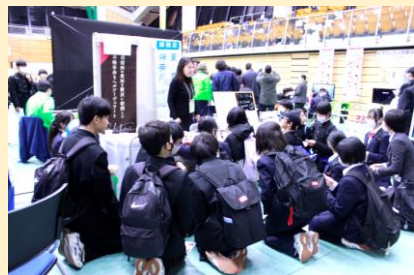


令和6年11月21日(木)伊那市中学生キャリアフェス2024



市内の中学2年生 541人、ブース出展 376人
見学や関係者含め、約1,110人が集まりました。

5月より半年かけて、この日に向けて準備を続けてきた12人の生徒実行委員。早朝から会場に集合し、続々と会場に集まってくるクラスメイト達を笑顔で会場に迎え入れました。

キャリアフェスの為に集まってくださった地域の大人と、会場に集まった中学2年生との語り合いの1日の幕開けです。

WEBパンフレットで、気になるブースや、話を聞いてみたい企業や団体のことを事前に調べていた生徒達は、オープニングの最後に実行委員が「さあ！ いってらっしゃーい!!」と掛け声をかけると、思い思いのブースに向かって移動を始めました。



参加した生徒の感想を聞いてみましょう！

- ・お金のためや、自分の好きなことのために働くことは悪いことじゃないけど、人のために働いている人はさらにかっこいいと思った。
- ・仕事は結構厳しくて大変そうなイメージだったけど、会社それぞれに目標とする姿があって、それを会社で一つのチームとなって取り組んでいて仕事って楽しそうだなと思った。
- ・好きなことを仕事にしている人は、ずっとそれを追いかけてきたからこそ仕事にできたと言っていた。やっぱり好きなことを仕事にするのは大変なことなんだと思った。
- ・もう少し時間が欲しい。1回1回のブースでのお話の時間はすごく充実していて、その人の人生などを細かく知ることができた。質問でもたくさん質問することができたので、よりお話を深めることができたので良かった。

✎ キャリアフェス後の生徒実行委員を直撃！

実行委員をやり遂げた今、思うことは？

- ・委員会の回数を重ねるうちに、だんだんと自分の意見が発せられるようになった事が良かったと、すごく記憶に残っています。
- ・最初は初対面の人ばかりで緊張したし、人とのコミュニケーションが苦手と思っていたけど、コミュニケーションがとれるようになったと思います。
- ・みんなで丸くなって意見を言い合った事がとても印象に残っている。次第に雰囲気がよくなり、活発に意見を出し合えたのがとても嬉しかったです。
- ・実行委員を経験して、損は無いと思う。そこで自分が何を得られるか、得るものが1なのか100なのかは、自分次第！
- ・各学校で、2人しか経験できない凄く貴重な体験でした。普段学校で聞く授業とは違うお話を聞ける機会もたくさんあり、本当に得るものが多い時間でした。本当に感謝しかないです。
- ・みんなと一緒にやり遂げたおかげで、苦手と思っていたことが、弱みではなく、少し努力が必要な強みであると知り、自分を変えることができた。
- ・当日の朝、実行委員で円陣を組んだ時、勇気をもって挑めそうだと感じる事ができて、実行委員になって、仲間がいてよかったと思いました。
- ・12人が打ち解けるまでは気まずい時期もあったけど、話し合いができるようになって、どんどん楽しくなった。
- ・当日に向けて台本を覚えたりすることは大変だったけど、「失敗しても大丈夫！みんな受け入れてくれる！」そういう安心感をみんなが感じさせてくれて、緊張せずに楽しめました。当日は12人揃って、最後までやり遂げられてよかった！



1年生の皆さんへ。来年の生徒実行委員は、君だ！！

各校1年生の皆さん！来年は、皆さんがキャリアフェスを引き継ぐ番です！
生徒実行委員は、市内6中学校から2名ずつの計12人のチームです。さらに地域の有志の大人達が、皆が作り上げるキャリアフェスをサポートしてくれ、生徒と大人がワンチームで活動をしていきます！

今この時にしか体験することができない生徒実行委員に、少しでも興味があったら、どんどん先輩や先生に質問してみてくださいね！